

中野市商工業振興審議会 会議録

審議会等の名称	中野市商工業振興審議会
担当課（連絡先）	商工観光課 商工労政係 電話 0269-22-2111 内線 258
開催日時	平成 19 年 10 月 22 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
開催場所	南宮庁舎 第 1 会議室
出席者	関委員、永井委員、中山委員、原委員、長田委員、寺坂委員、目須田委員、海野委員（代理出席）
出席者（市側）	柴草経済部長、小野商工観光課長、町田商工労政係長、小林主査、久保主任主事 小林産業誘致推進室長、小嶋まちづくり推進室長補佐
会議資料	資料
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長及び副会長の互選 ・ 平成 19 年度予算と主要施策について ・ 制度資金の概要について ・ 平成 20 年度事業に対する要望について
会議内容	<p>協議事項</p> <p>会長及び副会長の互選 会長に関委員、副会長に長田委員で決定した。</p> <p>平成 19 年度予算と主要施策について 説明（商工労政係長） 委員：中野商工会議所に設置しているチャレンジ起業相談室について、県の事業の見直しの中、廃止の方向にあるとの情報が入ってきている。 今年度は無理としても、中野市内の起業相談について、新規の起業相談が具体的になくなってしまうが、市で配慮いただけないか。これは、要望です。 委員：現段階では、情報が入っていない。分かり次第、早急に情報を提供したい。</p> <p>制度資金の概要について 説明（商工労政係長） 委員：利子補給が今年の 9 月で所期の目的が達成されたという中で、打ち切られた。これまでに利用した市内の企業はありがたいという感謝の言葉もある。 原油高の関係で調査をし、要望をした結果も踏まえ、今後も継続するような前向きな対応をお願いしたい。</p> <p>商工観光課長：市は、要望書としていただき、検討をしている。緊急経済対策における利子補給については、H17 年 9 月に終了した。</p> <p>閉めるにあたって、市は、状況分析をしている。大きな理由として、平成 13 年の景気はどうだったのか、それに対してどのように回復してきて、平成 17 年現在どうなっているかを見させてもらった結果、平成 13 年が特にひどかった。それから段々回復してきて、平成 17 年には、ある程度、景気も回復して来たので、緊急経済対策とすれば、ここまでではないか。ということが理由です。</p>

ただし、施策の全部をやめたわけではなく、預託倍率の関係、保証料の関係は、引き続き対策を講じている。利子補給以外は、継続して実施している。

原油高の関係は、全国的なことで、職種を問わずして、影響が出ているので、市として、その原油高に対応する新たな制度を作ることが良いのか。検討したい。19市の事務担当者研究会が11月中旬にあり、他市へ投げかけてあるので、どんな方法があるか、考えていきたい。すぐに結論は出ないと思うが、ご了承いただきたい。

委員：資料を見ると制度資金の利用度が減少傾向にあるが、市内の利用された企業の返済状況はどうか、借り入れ、借り換えに苦労しているか、状況を教えてください。

委員：制度資金の減少については、県の振興資金の取り扱いが変わった。資料の数字の減少は、県の振興資金のあっせん数が入っていないと思われる。全体として見るとそんなには、減っていない。

あっせん状況は、減少傾向にある。管内の取り扱いも減っている。

借り換え等で苦労しておられる企業も多いと思われる。私共も行政も他の借り換え制度を用意したり、柔軟に条件変更に対応したり、協力をさせていただいております。

委員：金融関係はどうか。

委員：ある程度上限する部分はあり、苦しいとは思いますが、企業が破綻に至るまでは少ないと思います。

平成20年度事業に対する要望

委員：これから調査研究しなければならないが、全国的な問題ですが、改正建築基準法に基づく申請書の審査が非常に遅延している。

このことにより、施主、業者も困っている。何とか打開策をとっていかないと経済全体に影響が出てくる。市内の実態もこれから調査していきたい。市の皆さんも関係課と連携して、実態を把握された方がよいと思われます。

県の建築課の審査が遅れていることは、どこに原因があるのか。たとえば、審査する人材が不足しているのか。あるいは、改正建築法の書類が膨大になり、審査に時間がかかるのか。分析をしていただきたい。市内の業者からも何ヶ月も経っても許可がおりてこないということも言われている。

直接商工審議会とは、関係はない実態があるということ承知いただき、打開策をお互いに研究していただきたい。

一日も早く景気が回復し、景気の動向も須坂以北は厳しいと言われているので、良い方策がないかどうか。

委員：資料に緩やかな回復との表現があるが、企業は全く感じていない。自分の会社のことしか言えないが、今、何を求めているかという世界に通用する部品加工です。いかに付加価値の高いものを作るかに目を向けている。安いものの数の多いものは、中国で作ってもらい、そういったものには、目をくれない。

付加価値の高いものとはどういうものかといえば、我々とすれば、加工技術で、加工しづらいもの、作りづらいものです。お客様から仕事を獲得するには、非常に難しいところもある。

	<p>営業的なもの、技術的なもの、いろいろありますが、いかに付加価値の高いものを作るかを研究している。勉強会にも参加をしている。</p> <p>もう一つは、ものづくりに経費をかけないで、無駄なく作るかに手腕をおいて経営している。高度な製品を作ると同時に、無駄をなくす、社内でも工夫をしている。環境認証を取得して、いかに経費を削減するか。水道、光熱費を削減するようにしている。行政では、そういうことの参考になるような研究会、いろいろな講師を招いての講演会の開催を望みます。自分自身も研究会等に参加をしている。まわりの情報を得ながら判断しなければならないので、そういった情報を得られる会を開催してほしい。</p> <p>委員：商店会も休会しているところもかなりありますが、商店も減少傾向にあるが、がんばっているので、制度資金のお願いもしておかなければならないかと思います。</p> <p>産業誘致推進室長 産業誘致推進室の活動の現状報告</p> <p>市内企業の持続的な発展に向けての支援、創業、起業に向けた支援、他地域と比較して有利な制度の良さを活かした企業誘致をしていきたい。</p> <p>室として、企業訪問を行い、市内企業の新分野へ向けた企業調査を行ってきている。</p> <p>以下資料により説明</p> <p>まちづくり推進室室長補佐から 県が施工している中町線の進捗状況についての説明</p> <p>場所は、八十二銀行中野支店から郵便局までの間になります。用地買収については、東側は、全て契約済み。西側と本庁部分は、6件ほど除いて契約済み。工事については、東側は11月ごろ発注、本庁部分については、年明けごろに発注予定で、西側の工事については、20年度に着工し、全体的には平成22年までに完了したいという状況であります。</p> <p>その他 なし 閉会</p>
次回開催予定日	

一部及び全部を非公開としたものについては、その理由を記載してください。